



第36回 全国育樹祭



第36回 全国育樹祭

平成24年秋 静岡県開催

11月10日(土)、11日(日)の2日間、第36回全国育樹祭が「木を植えて育てて活かす 緑の力」をテーマに静岡県で開催されました。

皇太子殿下をお迎えした今大会では『森林資源の活用』とそのため『人づくり』の大切さを理解し、参加、実践し、美しく力強い森林を次代につないでいくことを基本コンセプトに、10日にお手入れ行事、11日に式典行事が行われ、2日間で約3万人が参加しました。

美しく力強い森林を次代に

全国育樹祭は、育樹活動等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、昭和52年から、全国植樹祭を開催したところのある都道府県で毎年秋に開催されています。

静岡県では、昭和20年代に植えられたスギやヒノキの多くが木材として利用できる時期を迎えており、今後、木材を使い、森林の恵みを活かしながら、森林を守り育てていくことが求められています。今回の全国育樹祭は、森林との共生、充実した森林資源の活用と森林を守り育てる人づくりの推進を指して開催されました。

10日にあまぎの森(伊豆市場ヶ島)で行われたお手入れ行事は、森林を育て、



皇太子殿下のお言葉

第36回全国育樹祭が全国各地から多くの参加者を迎え、静岡県において開催されることを喜ばしく思います。

静岡県は、霊峰富士や南アルプスをはじめとする山々に抱かれ、その県土の3分の2を森林が占めています。このすばらしい森林は、長年にわたり、守り育てられてきた林業関係者と県民の皆さんの弛みない努力の賜物たまものであると思います。私も静岡県の山々を登るたびに、森林の美しさに心を打たれます。

昨日、私は平成11年の第50回全国植樹祭から13年が経過した伊豆半島のあまぎの森で、天皇皇后両陛下がお手植えになりましたヒメシャラとヤマボウシの手入れを行いました。その折に、県民が大切に育ててこられたあまぎの森の美しさに感銘を受けるとともに、林業関係者ばかりでなく、森林ボランティア団体や企業など、森林を支える活動の輪が大きく広がっていると聞き、大変心強く思います。

森林は、国づくりのもとであり、絶えることなく、水を育み、災害を防ぎ、木材などの森の実りと与えるとともに、河川水を通じて豊富な栄養塩類などを漁場に供給することで、豊かな海づくりにも貢献するなどの大きな役割を果たし、人々の暮らしを豊かにしてきました。さらに最近では、地球環境の保全に果たす役割も大いに注目され、期待されています。

こうした森林の大切さを思う時、これまで緑を守り育ててきた技術や文化を次の世代に引き継いでいくことは、きわめて大切なことと考えます。

本日表彰を受けられる方々をはじめ、日頃から各地域において、国土の緑化に尽力されている全国の皆さんに敬意を表するとともに、そうした活動が、さらに多くの人々によって支えられ、発展していくことを期待します。

終わりに、この大会テーマである「木を植えて育てて活かす 緑の力」にふさわしく、森林を守り育て、そして活かす活動の輪が全国に広がり、緑あふれる豊かな自然が未来へと継承されていくことを切に願い、私の挨拶といたします。

次の世代に引き継ぐことを象徴する行事であり、皇太子殿下は、平成11年に開催された第50回全国植樹祭で天皇陛下がお手植えされたヒメシャラと、皇后陛下がお手植えされたヤマボウシの根元に肥料を施し、くわでならしてお手入れされました。お手入れを終えた皇太子殿下は、介添えを務めた児童や高校生たちにお声がけし、緑の少年団の活動内容や学校生活、将来の希望などについて尋ねられました。

また、伊豆市の天城ドームにはサテライト会場が設けられ、お手入れ行事の様子が上映されるとともに、各種展示・販売やステージアトラクションなどにより森林・林業のPRが行われました。

森林との共生を進める 取組を発信



11日にエコパアリーナ(袋井市)で開催された式典行事には、約7500人が参加。皇太子殿下からお言葉を頂き、森林の育成や林業の発展に貢献した個人・団体の表彰、みどりの贈呈、県内の緑の少年団の活動発表等が行われました。

みどりの贈呈

個人・団体の表彰、みどりの贈呈、県内の緑の少年団の活動発表等が行われました。



式典行事プロローグでの書道家・岩科蓮花いわしなれんかさんによる書道パフォーマンス。勇壮な和太鼓の演奏に合わせて、力強い「環」の文字が描かれました。



創作ダンス「フォレスト・ライフ」。ポレロの演奏に乗って、森の妖精たちが見守る中で、木が芽吹いて成長し、社会に送り出されるサイクルを表現しました。

「アマトラクション」では、地元掛川市出身のバイオリン奏者・長尾春花ながおほはるかさんによる演奏や、静岡市出身の女優・酒井美紀さかいみきさんや地元児童、高校生等による創作ダンス「フォレスト・ライフ」が披露されました。

露されました。式典の終わりにには、林業後継者の代表等による次世代への豊かな緑の継承を宣誓する誓いのことばや大会宣言が行われました。

第36回 全国育樹祭 併催行事

育林技術交流集会 11月10日

静岡県伊豆市の天城ドームで開催された育林技術交流集会では、ミスユニバース2007の森理世さんによる特別講演や、パネルディスカッションのほか、みどりの大使による「みどりのアピール宣言」や歌の披露などが行われました。



全国緑の少年団 活動発表大会 11月10日

全国から選ばれた緑の少年団員と静岡県の少年団員が一堂に集い、日頃の活動成果や地域の特色ある活動を発表し、交流を深めました。

発表会では、歓迎アトラクションや全国から選抜された緑の少年団5団体の活動発表のほか、ホールアース自然学校によるネイチャートーク「森の不思議探偵団」が行われました。



第36回全国育樹祭大会宣言

・森林の有する多面的機能が持続的かつ十分に発揮されることとなるよう、「森林との共生」に向けた取組を一層推進する。
・森林の整備や木材などの森林資源の積極的利活用を一層推進し、「循環型社会」の実現を目指す。
・美しく力強い森林が、守り育てられ、未来へと確実に引き継がれるよう、将来の森林づくりを担う青少年の育成に一層努力する。

2012森林・林業・環境機械展示実演会



11月11日(日)、12日(月)の2日間にわたって、2012森林・林業・環境機械展示実演会が静岡県掛川市平野の小笠山総合運動公園グランド・芝生広場で開催されました。

この展示実演会は、昭和56年度から開催されており、昨年に続き全国育樹祭記念行事として行われた今回は、林業機械メーカーをはじめとする過去最多の66社が参加し、高性能林業機械からチェーンソー、刈払機、林内作業車、森林バイオマスの有効活用や環境保全関連機器等、500を超える機種が出展され、約1万2500人が来場しました。

また、会場に近接する森林内では、最新鋭の林業機械により、現場と同じ環境で機械類の実際の動きや性能を確認できる林内実演会も行われました。

試乗体験

名古屋から会場を訪れた学生のお二人に試乗の感想をうかがいました。



「ボタン操作が敏感でびっくりしました」と西原さん(左)、「足がペダルに届きませんでした」と香坂さん。

会場内に展示された林業機械



林内実演会

森林内に設けられたA～Cの3会場で開催された林内実演会では、ハーベスタやフォワーダ等の高性能林業機械による作業実演会が行われました。

傾斜地や狭い林道内で操作性の高さや高度な作業学習機能を持った林業機械等の実演が注目を集めていました。



ハーベスタ・スキッド(C会場)



ハーベスタ(A会場)



グラップル付トラック(C会場)

